

# 具体的な指導と「めざす教師像」「新大分スタンダード」等との関連

[取組事例] 中津市立小楠小学校、児童数492名、中津教育事務所管内

好 事 例 の  
ポ イ ン ト

- ・チームとしてベクトルをそろえる指導を明確化
- ・具体的な指導等と「新大分スタンダード」等との関連付けによる指導の価値付け

## 1. 取組の内容

《 小楠小スタンダード 》		
<b>【授業場面】</b>		
1	・時間を守る（開始・終了）	⇒ 教師間意思疎通 (チーム小楠小)
2	・毎日1回は、個が活躍できる話し合いの場設定 (全体、グループ、ペア等)	⇒ 自己存在感 (生徒指導の3機能)
3	・基礎基本・活用プリント(授業末、小楠タイム、家庭学習等)	⇒ 繰り返し徹底 (基礎基本)
4	・思考の流れが明確にわかる板書づくり (「めあて」と「振り返り」、「課題」と「まとめ」)	⇒ 1時間完結型 (新大分スタンダード)
5	・教え合いの習慣(みんなで伸びる)。優しい言葉の推奨。	⇒ 共感的人間関係 (生徒指導の3機能)
6	・授業妨害への、徹底指導 (妨害行動の影響をクラス全体で共有し、解決案実施)	⇒ みんなで解決 (学習規律)
<b>【日常活動場面】</b>		
1	・個別指導等の成果を他児童に広め相互理解を図る	⇒ 共感的人間関係 (生徒指導の3機能)
2	・休み時間の表情や声かけから心理状態把握	⇒ 児童理解 (教師のアンテナを高く)
3	・放課後の教室を眺める。児童机・靴箱等から心情を知り、次の日の授業や生活指導時に利用	⇒ 児童理解 (教師のアンテナを高く)
4	・委員会や学級係活動等、日頃の活躍を褒める	⇒ 自己存在感 (生徒指導の3機能)
5	・教職員のチームワークを疑わせない。複数で意思疎通し、子どもの前でお互いを尊重する態度を示す	⇒ 教師間意思疎通 (チーム小楠小)
6	・トラブル時への対処法確認 【互いの言い分を心が静まるまで聞く。必要時は学級全体へ問いかけ、問題を客観視する目を育てる(頭ごなしの指導をしない)】	⇒ みんなで解決 (トラブル)
<b>【保護者との連携】</b>		
1	・欠席時対処法の共通理解 (保護者と話すチャンス。積極的な家庭訪問で児童、保護者の願いを知る。保護者の優かなつづやきも事後指導のヒントとする。1日目から家庭訪問。)	⇒ 家庭訪問 (あったかハート1、2、3)
2	・機会を見つけ訪問(よい行い【褒めたいとき】にも)	⇒ 家庭訪問 (あったかハート1、2、3)
3	・問題行動では「罪を憎んで人を憎まず。」。改善策を親子に寄り添いじっくり話し合う。	⇒ 納得するまで時間かけ (罪を憎んで人を憎まず)
4	・気になる児童の保護者は、学校連絡に不安感あり。保護者の立場(子育ての苦労・悩み)で声かけを。	⇒ 親の思いを受け止める (正義を突きつけない)

## 2. 取組についての評価等

- ・年度を跨ぐ取組の継続を「スタンダード」で明記し、チームとして指導する組織を構築。
- ・県の施策との相関を明らかにし、学校・地域が変わっても指導に生かしていける。